

世田谷区立松沢小学校
校長 寺崎 晶子 様

世田谷区立松沢小学校
学校関係者評価委員会
委員長 中村 英代

令和5年度世田谷区立松沢小学校 学校関係者評価委員会報告書

令和5年度学校関係者評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

学校におかれましては、この報告書を今後の学校運営にご活用いただき、より一層児童の健やかな成長が図られますようお願い申し上げます。

I 調査実施時期・対象(回収数・率)

- (1) 実施時期：令和5年11月28日から12月12日まで
- (2) 実施対象：児童（5・6年生） 保護者（全児童数） 地域（学校協議会委員他）
- (3) 回収数（回収率）：児童248人（85%） 保護者618人（70%）
地域47人（58%）

II アンケート調査結果（別紙）

III 考察

(1) 児童対象（5年、6年対象）

【評価結果が顕著な設問項目】

設問	評価委員のコメント
肯定的回答が多かった項目 ・先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。 ・授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	教師が授業において児童の自主性を重んじ、双方の信頼関係によって、児童の授業に関する高い充足感がうかがえる結果となった。 ※「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。(95.1%)」の評価は全設問最高値
否定的回答が多かった項目 ・学校行事は楽しい。 ・学校生活は楽しい。 ・学校行事は達成感がある。	「学校行事は楽しい(87.1%)」「学校生活は楽しい(83.2%)」「学校行事は達成感がある(82.3%)」学校生活に関する肯定的評価は8割を超えるものも多く、有意義な様子がわかる。
わからないという回答が多かった項目 ・区立中学に関する情報が提供されている。 ・学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	“学び舎の中学校”に対する評価項目は昨年比プラスとなったが、近隣の区立中学への理解が深まらない。「区立中学に関する情報が提供されている。(47.4%)」「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。(39%)」キャリア教育推進のためにも早急の改善が求められる。

1 学習について

「先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている(93.1%)」「先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している(84.8%)」

「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある(95.1%)」

「先生は映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている(88.3%)」

4項目共に昨年より数ポイント上昇しており、先生方と児童がより高い水準を目指して学んでいることがうかがわれる。今年度は新型コロナウイルスによる様々な規制が解かれ、様々な対話、交流により相互理解が進んだのではないかと見られる。

2 生活指導について

「私は、学校のきまりを守って、行動している(77.3%)」

「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している(81.1%)」

「先生に注意されたことは、理解できる(90.4%)」

昨年に比べ、ほぼ横ばいの結果となった。「先生に注意されたことは、理解できる」は微増しており、先生方の注意に対して、納得している様子が見られる。

3 学校行事について

「学校行事は楽しい(87.1%)」

「学校行事は達成感がある(82.3%)」

「先生は、児童の意欲を大切にしている(78.7%)」

新型コロナウイルスによる規制が解かれ、楽しく達成感のある学校行事が戻ってきた。昨年に比べ、増加傾向が見られる。

4 キャリア教育について

「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある(67.1%)」

「目標をもち、その実現に向けて努力している(75.9%)」

「区立中学に関する情報が提供されている(47.4%)」

自身の将来設計については、中高大学生になってもなかなか難しい側面がある。だから、小学生からの丁寧なキャリア教育が肝要なのだろう。そういった背景の中、直近の最大関心事である区立中学校の情報に対する評価は多少の上昇傾向が見られるが、依然として物足りない。進学先として積極的に選択される区立中学校との交流や対話増等による改善策が求められているのではないかと見られる。

5 先生について

「先生たちは、ていねいに指導してくれる(89.2%)」

「先生たちに相談できる(72.2%)」

両項目ともに昨年比増となった。先生方との信頼関係が見て取れる。また、かつて「先生たちに相談できる」の評価は50%台半ばが続いたが、一昨年に大きく改善され、その後は上昇傾向となっている。引き続きの対応をお願いしたい。

6 全般について

「学校生活は楽しい(83.2%)」

「学校が好き(69.4%)」

「私は、家庭で宿題やeラーニングでの学習をしている(68.6%)」

「私は、塾で学習している(69.1%)」

「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある(39.0%)」

7割強の児童が充実した学校生活を送っていること評価に値するが、そう思っていない児童が2割程度存在する。この設問からは否定的意見の内訳までは考察できないが、これからも児童に寄り添い引き続きの指導をお願いしたい。

また、「学び舎の中学校」に関する項目は昨年比約10ポイントの改善が見られた。更なる対応をお願いしたい。

7 自分のことについて（松沢小学校独自項目）

『松沢小学習スタンダード』が身に付くように努力している(69.9%)」

「気持ちのよいあいさつをするようにしている(77%)」

「安全に気を付けて生活をしている(89.9%)」

「運動に意欲的に取り組んでいる(67.5%)」

「相手の気持ちを考えて行動している(85.6%)」

「気持ちの良いあいさつ」「運動に意欲的」が約5ポイント減となったが、あとは微増または横ばいとなった。

依然として高評価であることには変わりがない。“自分で学び相手の気持ちを考えて行動する”松沢小学校の児童像は頼もしい。引き続きの丁寧な指導をお願いしたい。

(評価委員：大庭美幸・吉見明樹)

(2) 保護者対象（児童数）

【評価結果が顕著な設問項目】

設問	評価委員のコメント
<p>肯定的回答の多かった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事は子供にとって楽しい。 ・学校行事は、子供にとって達成感がある。 ・本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。 	<p>「楽しい(94.5%)」「達成感(90.9%)」ともに9割超えの高評価。学校生活に関する項目は肯定的評価が多いが、行事に関しては特に保護者としても満足度が高い。引き続き工夫した行事運営を期待する。</p> <p>「安全指導(93.4%)」の評価も高く、引き続きの指導を希望する。</p>
<p>否定的回答の多かった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、家庭で自主的に学習をしている。 ・私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。 ・私は、今年度の学校重点目標を理解している。 	<p>「自主的に学習(61.6%)」は肯定的な回答が低いが、保護者の期待とのギャップだろう。</p> <p>「すすんで協力(52.6%)」「学校重点目標(47.2%)」は肯定的な回答が低いが、昨年よりは増加。</p> <p>学校重点目標は更にアピールしていただけるとよいのではないかと。</p>
<p>わからないという回答の多かった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。 ・本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。 ・本校の子どもたちはいのちを大切に考えている。 	<p>「学び舎の交流活動(72.1%)」は(わからない25.7%)の回答が多いが、昨年よりは減少。松沢中学校からの情報提供が増加したことで、改善されていると評価できる。</p> <p>「いのち(72.1%)」は(わからない25.7%)が昨年より減少したが、肯定的意見も増加しているため、改善されていると評価できる。</p>

1 学習指導について

「本校は、子供が考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。(80.6%)」

「本校は、黒板の書き方などやプリントなどを工夫している。(71.0%)」

「本校は、子供が考えたことを話し合ったり発表したりする機会がある。(87.2%)」

「本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。(77.8%)」

全項目が昨年より増加。学校公開の制約が減り機会が増えたことやロイロノートを通じて、学習の様子が理解しやすくなったと評価できる。「話し合ったり発表したりする機会がある」は、先生からの一方的な指導ではなく、今の時代に求められる子供たちが主体的に考える力がつくよう、工夫いただいているということであり、大変ありがたい。「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」は、ロイロノート等のタブレットの活用は年々進化していて質が高い。どの授業もオンライン参加でき、見学だけでもつながっていただける体制ができるとよりよいのではないかと。

2 生活指導について

「本校は、学校のルールについて子供に考えさせる指導をしている。(74.4%)」。

「本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。(82.0%)」

わからないも両項目ともに減少。学校の指導方針や校長先生をはじめ、先生方の理念等が昨年より更に保護者にも浸透してきていると評価できる。

3 学校行事について

「学校行事は子供にとって楽しい。(96.5%)」

「学校行事は、子供にとって達成感がある。(90.9%)」

「本校は、子どもの意欲を大切にしている。(84.0%)」

驚くべき高評価が継続された。体育学習発表会では個人目標・学年目標に向かって仲間とともに頑張る意識が醸成され、達成感に繋がっていると思われる。また、今年度の音楽学習発表会は、学年単位の発表に拡大され、感動的な素晴らしい会を人数制限もなく鑑賞できたことも高評価につながっただろう。その他行事への更なる期待も膨らむ。

4 キャリア教育について

「本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。(64.0%)」

「本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。(57.5%)」

いずれもわからないが4分の1を占め、「教員は子どもに目標をもたせ」は昨年より6%減となった。ただ、実際にはアナウンサーやスポーツ選手等外部講師の出前授業も多く、いろいろな職種に触れることで将来の仕事を考える機会はどの学年でも作っていただいている。他学年の取組報告を学校だより等に含め、更にアピールしてもよいのではないか。

5 教職員について

「本校は、丁寧に指導している。(84.5%)」

「本校は、子どものことを相談しやすい。(77.3%)」

いずれも昨年より微増し高評価。様々な事情を抱えた児童を取り残すことないように、丁寧に指導いただけることは大変ありがたい。引き続き一人一人の個性に応じた対応を希望する。

6 全般について

「本校の学校生活は、子供にとって楽しい。(90.1%)」

「子供は、家庭で自主的に学習をしている。(61.6%)」

「本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。(47.8%)」

「本校の教育活動に満足している。(84.3%)」

「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。(72.2%)」

特に「学校生活は楽しい」は6%、「教育活動に満足」は5%増加しており、喜ばしい。毎日の学校生活が楽しくなるよう、勉強だけでなく、子供同士の交流についても引き続きの工夫を希望する。「家庭で自主的に学習をしている」では否定的回答が昨年同様に多く、家庭での学習については保護者としては悩ましい。「『学び舎』による連携や交流活動が行われている」は肯定的な意見は増加していないが、わからないが減少。松沢中学校の小学生向けの説明会や部活体験の開催もあり、改善されると評価できる。

7 学校からの情報提供について

「本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。(89.8%)」

「学び舎の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている(50.6%)」

「本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。(89.2%)」

「本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。(91.4%)」

情報提供については昨年より微減だが、引き続き高評価。「学び舎の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている」は他項目に比べれば低いが、昨年より10%も増加。引き続き情報提供されることを希望する。

8 学校運営について

「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。(80.2%)」

「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。(85.6%)」

いずれも昨年以上に高評価。学年単位での協力した指導・見守りも信頼につながっているだろう。先生方の協力的な指導体制に感謝する。担任の先生だけでなく、様々な先生と関わっていけることを引き続き希望する。

9 家庭と学校との連携について

「私は、学校公開にすすんで参加している。(88.4%)」

「私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。(52.6%)」

「私は、今年度の学校重点目標を理解している。(47.2%)」

否定的な回答が多い項目として「学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している」があるが、肯定的な意見も半数あり、もっと協力したいが現実及んでいないことがこの回答に表れているのではないかと。「今年度の学校重点目標を理解している」も昨年同様、否定的な回答が多かった。目標については連携されていると思うが、保護者が覚えていることは難しく、学校だより等で更にアピールしていただけるとよいのではないかと。

10 地域との連携について

「本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。(79.9%)」

「本校は、地域の活動などに協力的である。(79.3%)」

「本校は、地域に情報を提供している。(69.7%)」

地域の方には体育学習発表会や読み聞かせ、どきどき土曜スクール、わくわく体験教室等、様々な場面で協力いただいているが、学生・保護者ボランティアも活用し、必要な児童への手厚いサポートを期待する。

11 学校の安全性について

「本校は、安全な学校づくりを進めている。(85.0%)」

「本校は避難訓練やセーフティ教室などで、子供に安全に関する指導をしている。(93.4%)」

「本校は自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。(86.9%)」

昨年度に続き、「安全に関する指導をしている」の肯定的回答は非常に評価が高い。避難訓練の充実や緊急連絡メールを活用し、大切な情報が速やかに提供されていることへの安心感が高評価につながっているだろう。

1.2 松沢小独自項目

「本校の子供たちはあいさつをよくしている。(70.5%)」

「本校の子供たちはいのちを大切に考えている。(67.3%)」

「本校の子供たちはすすんで運動に取り組んでいる。(63.1%)」

「本校の子供たちは、相手を思いやる言葉を使っている。(53.2%)」

全項目昨年より増加。「あいさつをよくしている」は6%増加。しかし「相手を思いやる言葉を使っている」は半数程度で依然低い。あいさつ当番等もあり、あいさつについては改善されたが、思いやりや相手の気持ちを考えることは課題として残っているため、重点的に指導いただけるよう希望する。学校と家庭で協力して指導をしていきたい。

(評価委員：大島友佳子・宮元智美)

3 地域の方々対象

【評価結果が顕著な設問項目】

設問	評価委員のコメント
肯定的回答が多かった項目 ・学校は安心・安全な学校づくりをすすめている。	肯定的評価97.9%。地域のアンケート調査の中でも、学校の安全性に関しては肯定的評価が一番高い数値を得ている。地域の方々からも学校はより安心・安全な学校づくりを進めて欲しい事が伺える。今後も取り組みを継続して欲しい。
否定的回答が多かった項目 ・「学び舎」の活動について情報提供されている。	否定的評価38.3%。毎年、否定的評価の多いのが「学び舎」の活動である。地域の方々には学校内部の「学び舎」の活動については知らない方が多い。 本校は、松沢中学校、赤堤小学校と連携して「赤松学舎」の名称で交流活動をしている。上級学校の交流は将来において必要とされているので、継続して欲しい。
わからないという回答が多かった項目 ・学校協議会と合同学校協議会が役割を果たしている。	否定的評価44.7%。「わからない」が29.8%、約3割を示している。学校協議会と合同学校協議会の名称は知っていても、役割、内容に関しては、知らない方が多いのではないかと。 学校と地域の方々との協議の場として、必要とされているので継続して欲しい。

本校は商店街の中心とも言える位置にあり、町会、自治会、多くの商店街関係者の方々や学校関係の委員、近隣の幼稚園、保育園、介護団体などに日頃からご協力をいただいています。皆様からの学校へのご支援に感謝申し上げます。

【共通評価項目】

1 生活指導について

地域の方々が見守る機会が多いのは、登下校の時間である。特に商店街エリアは、時間帯で通行止めをしているが、あくまでも商店街エリアの中心部だけで、通行止めエリア外は、車の迂回路になっている。児童は概ね交通ルールを守っていると評価を得ているが、下校時は特に危険で今後も学校からの定期的な指導と、地域の多くの目で児童の見守りを継続して欲しい。

2 学校行事について

新型コロナウイルス感染症が発生以来、生活習慣も変わったが、今年度5類に移行され4年ぶりの学校行事も増えてきている。

終息したわけではないが、出来る範囲で子どもたちの「思い出づくり」の場を作っていただきたい。

3 学校からの情報提供

年間を通して「学校だより」「学校運営委員会だより」を地域に配布し高評価を得ている。

また、ホームページは毎日更新して児童の様子や学校の様子も分かる。コロナ前の閲覧評価に比べると倍近い評価を得ている。SNSを活用した情報発信は現在欠かせない存在になっている。

毎日更新する担当の教職員は、大変だと思いますが、今後も継続して欲しい。

4 キャリア教育について

子供に目標を持たせ、それを実現するための教育で、将来の目標を見据えた教育である。目指す学校像の中に、「地域と共に子供を育てる学校」も掲げている。

地域のアンケートでは数ある肯定的評価の中で、否定的評価が目立つが、70%以上の肯定的評価である。

保護者、児童の学校全体評価でも「学校行事は楽しい」は、高評価を得ている。地域の方々にとっても、児童が楽しそうに通っている姿は微笑ましい。

本校は、商店街エリアの中心とも言える場所にあり、地域の特徴を活かした教育も積極的に行って欲しい。

5 地域との連携について

本校は下高井戸商店街の中心とも言える場所にあり、地域の特徴を活かした授業をしている事が伺える。また、日本大学文理学部もあり、学生の教育活動にも生かされている。

また、学校運営委員会も活発な活動を行っている事が伺える。一方、学校協議会や合同学校協議会の役割に関しては肯定的評価が低い。これはコロナ禍以降、学校協議会を開催していないことが要因と考えられるが、学校協議会の機能は、学校運営委員会と避難所運営委員会で十分に果たしている。学校協議会の3つの機能「児童の健全育成」「地域防災・防犯」「教育活動の充実」のうち、「児童の健全育成」と「教育活動の充実」は学校運営委員会が、「地域防災・防犯」は避難所運営委員会が機能を補完しているので、働き方改革の視点から見ても、改めて時間と手間をかける必要が感じられない。

6 学校の安全性について

松沢小学校は、定期的に避難訓練が行われている。また、松沢小学校は、地域の避難所として、松沢小学校避難所運営委員会の開催時には、毎回参加し学校側の情報など提供、共有している。毎年秋には希望者児童を募り、学校運営委員会が主催する「ときどき土曜スクール 避難所を体験しよう！」を、消防署管轄、行政、避難所運営委員会、大学生等が協力して避難訓練と避難所宿泊体験をしている。実際に体験する事は大切である。今後も取り組みを継続して欲しい。

7 松沢小独自項目

「子供たちは、挨拶ができる」は、昨年より肯定的評価が微減しているが、校内で挨拶運動を行っている様子、また登下校時に子ども達が元気に挨拶する姿を見ることが出来る。地域の方々から見た評価を受け止め、温かく見守っていただきたい。

「子供たちは、楽しそうに学校に通っている」は、今年も大変高い評価となった。子供達にとって学校が楽しいことは、地域にとっても非常に好ましい。引き続き楽しい学校運営をお願いしつつ、地域の方々には、これからも温かく見守って欲しい。

(評価委員：石井健夫・永井紀之)

IV まとめ

本年度のアンケート結果の評価を、「評価の高い設問」と「評価の低い設問」に区分して、それぞれの評価内容を総括した。特に〈表-1〉と〈表-2〉は、「児童」「保護者」「地域」のアンケート結果の項目の中で、最も顕著な結果が現れたものである。「評価の高い設問」は、松沢小学校の最も優れた特色であり、「評価の低い設問」は次年度の優先課題となるものである。

1 今年度の評価結果に関する成果と課題

〈表-1〉 【評価の高い設問】

区分	設問	評価委員のコメント
児童	<ul style="list-style-type: none"> 先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。 授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。 	2項目ともに9割を超える高評価で、先生が授業のポイントを的確に児童に示し、児童も授業に主体的に参加していることがうかがえる。
	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事は楽しい。 学校生活は楽しい。 学校行事は達成感がある。 	3項目ともに8割を超える高評価で、各種行事、日々の学校生活の充実ぶりがうかがえる。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事は子供にとって楽しい 学校行事は、子供にとって達成感がある。 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。 	3項目ともに9割を越える高評価で、各種行事や安全指導に関する保護者の満足度が高い。
地域	<ul style="list-style-type: none"> 学校は安心・安全な学校づくりをすすめている。 	9割を超える高評価で、地域のアンケート調査の中でも、学校の安全性に関しては肯定的評価が最も高い。

児童からは、主体的に授業に参加している様子や学校行事・学校生活を楽しんでいる様子が確認できた。保護者からは、学校行事や安全指導、ホームページなどを通じた情報提供が、前年度に続く高評価となり、学校生活全般への満足度の高さが読み取れる。また、地域からは、学校の安全性についての信頼が読み取れる。

〈表-2〉 【評価の低い設問】

区分	設問	評価委員のコメント
児童	<ul style="list-style-type: none"> 区立中学に関する情報が提供されている。 	「区立中学に関する情報が提供されている(47.4%)」は、昨年42.6%から微増した。ただし、否定的回答が22.9%、「わからない」という回答も29.7%である。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> 私は、今年度の学校重点目標を理解している。 	今年度の学校重点目標はホームページにも掲載されているが、肯定的回答が5割程度であった。
地域	<ul style="list-style-type: none"> 「学び舎」の活動について情報提供されている。 	否定的評価38.3%。例年、この質問項目は否定的評価が多い。地域の方々には学校内部の「学び舎」の活動については知らない方が多い。

「評価の低い設問」は、前年度に引き続き児童の「区立中学に関する情報が提供されている」であった。5・6年生の「わからない」という回答は29.7%、否定的回答は22.9%（「あまり思わない」(18.1%)、「思わない」(4.8%)）である。昨年も同様のことを述べたが、松沢小学校の令和4年度の私

立中学進学者[令和5年度は集計中のため令和4年度の進学者とする]は51%（131名中67名）であり、約半数の児童は区立中学には進学していない現状があるため、世田谷区で用意されている質問項目と松沢小学校の特徴に若干ズレがある点を指摘しておきたい。なお、区立中学に進学する児童も私立中学に進学する児童も、どちらも少数派になることなく、各児童・各ご家庭の判断で進路選択ができるのは松沢小学校独自の強みともいえる。

ただし、「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある」に関する肯定的評価は昨年より10%近く上がっている（29.7%⇒39.0%）。昨年のアンケートの結果を受け、今年度は6月の同窓会総会で松沢中学校の吹奏楽部の生徒に演奏してもらったり、松沢中学校での部活動体験（5・6年生対象）を実施したりするなど、松沢中学校の生徒たちとの交流の場を設けていただいた成果がしっかり反映されている。中学校の情報提供は中学校側の課題であり、松沢小学校側の課題ともいい難いが、この点について教職員のみならず共有していただき、引き続き、日常の学校生活の中で児童や保護者に必要な情報が提供されていくようお願いしたい。

児童の「学校生活は楽しい(肯定評価 83.2%)」という結果からは、松沢小学校での現在の学校生活を多くの児童が楽しめている状況が確認できる。他方で、「学校が好き」の項目は否定的評価が3割となっている（「あまり思わない」（15.7%）、「思わない」（10.4%）、「わからない」（4.4%）。この点については、松沢小学校では、児童の気持ちや学校生活を把握するために次の2つのアンケートを実施している。①学校生活についてのアンケート（「いじめを把握するためのアンケート」全学年対象、年3回実施、東京都の取組）、②Q-U（「楽しい学校生活を送るためのアンケート」（3年生以上を対象、年2回実施、世田谷区の取組）の2つである。学校が好きではないという場合、たとえば、朝起きることがつらい、そもそも集団生活が苦手であるというケースもある。つまり、学校で対応できる範囲を超えたところに、児童の苦手や嫌いがあるケースもあるということだ。そして、何かを好きになれない気持ちを隠さず正直に表現できることは子供の成長にとって大切である。ネガティブな感情を表現しても、ポジティブな方向に誘導されることなく、嫌だという気持ちを「そういう気持ちもあるよね」とそのまま受容してもらえらる環境は教育の場には必須といえるだろう。

保護者の「私は、今年度の学校重点目標を理解している」も「わからない」を含めた否定的回答が5割となり、一昨年、昨年とほぼ同様の結果となった。重点目標はホームページに掲載されているが見落とされている可能性がある。あるいは、その年ごとに学校重点目標があるということ自体が一部の保護者に伝わっていない可能性がある。どちらも情報の伝え方の工夫次第で改善が見込まれる項目であるため、次年度の改善事項として引き続き検討願いたい。

地域では、「「学び舎」の活動について情報提供されている」は否定的評価が例年多く、地域の方々は学校内部の「学び舎」の活動については知らない方が多いといえる。

2 総合所見

令和4年度から、アンケートがアンケート用紙での実施・回収ではなく、二次元コードからオンラインで回答する方式に変わった（地域はオンラインとアンケート用紙を併用）。そのため、回収率が児童で96%（令和3年度）から87%（令和4年度）、85%（令和5年度）へと減少、保護者で85%（令和3年度）から71%（令和4年度）、70%（令和5年度）へと減少、地域で66%（度）から50%（今年度）、58%へと減少傾向のまま、回復していない。本年度も、学校側からアンケートの周知を繰り返してもらおうことで、回収率の大幅な減少には至らずに済んだが、引き続き、回収率の回復を願うところである。

令和5年度は“with コロナ”の状況も落ち着き、オンラインも活用しつつ各種行事は対面で行われた。昨年に引き続き、児童の「学校行事は楽しい（87.1%）」、保護者の「学校行事は、子供にとって楽しい」（94.5%）という結果には注目したい。

昨年同様、アンケートの結果は、児童・保護者・地域ともに、全体的にかなりの高評価となった。教職員のみなさまが質の高い教育活動を行っていることがわかる。評価の低い項目についても、学校の教育活動にとって本質的な問題といえるものではなかった。校長・副校長先生をはじめ、教職員の皆様の日々のたゆまぬ実践によって、豊かな教育が実現されているといえるだろう。

本年度の学校関係者評価アンケートでは、児童からも、保護者の方からも、そして地域の方からも、松沢小学校の活動への肯定的な評価と信頼を読み取ることができた。アンケートは人々の思いや考えを集合的に把握する貴重な機会である。回答に快く応じていただいた皆様に感謝するとともに、今後も本委員会によるアンケートが、児童、保護者、地域の皆様、教職員といった異なる立場で学校教育に関わる人々の思いをつなぐ場になればと願う。

世田谷区松沢小学校 学校関係者 評価委員会

委員長 中村英代（日本大学文理学部・社会学科）

委員 石井健夫・大島友佳子・大庭美幸・永井紀之・宮元智美・吉見明樹